

平成 30 年度 第 2 回 苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 12 日（火） 14：00～15：30
- 2 場 所 苫小牧市民活動センター4 階 講習室 A
- 3 出席者 審議会委員 8 名（欠席者 2 名）
総合政策部協働・男女平等参画室男女平等参画担当（室長、主査、主任主事、嘱託事務員）
- 4 傍聴人 市政レポーター5 名、総合政策部協働・男女平等参画室広聴担当職員 3 名
- 5 記 者 1 名
- 6 会議概要

報告（1）平成 30 年度男女平等参画に関する事業の報告について

ア 日本女性会議 2018in 金沢 大会報告

日本女性会議 2018in 金沢大会について事務局より報告。

【感想】

自分も金沢大会に参加し、金沢の伝統の重みを感じるとともに男性優位の意識が根付いたまちで日本女性会議を開催するのは大変だったと思う。そんな中で女性が今後どのように取組んでいくのかを考える大会であったと感じた。

【感想】

記念講演は女性能楽師が行い、男社会の中で女性が能楽師になるまでの苦労を感じる内容であった。

イ 苫小牧市ワークライフバランス等企業表彰

苫小牧市ワークライフバランス等企業表彰について事務局より説明。

【質問】

企業表彰は自薦で行ったのか、または他薦だったのか。

【回答】

自社の取組みについて応募していただいた。市内には素晴らしい取組みをし

ている企業がたくさんあると感じており、好事例として市内に広めていきたいと考えている。

【意見】

事業主からは手を挙げづらいかもしれないので、従業員自らが「自分はこんなに良い環境で働いている」という視点で手を挙げるのも良いのではないか。

【意見】

表彰して終わりというのではなく、その後こんな風にして更に良くなったなど、従業員がどう思っているかを含めて継続して応援して欲しい。

【事務局より補足】

今回の企業表彰を受賞したことをきっかけに入社を希望する方がいたとの話を伺った。求職者にとっては働きやすい環境づくりに取り組んでいるかどうかにも企業を選ぶ視点になっている。大企業だけではなく、身近な企業も働きやすい環境づくりに取り組んでいることを知り、広まってほしいと考えている。

ウ デートDV防止出前授業

デートDV防止出前授業の実施状況について事務局より説明。

【委員より補足】

デートDV防止出前授業の実施校数は年々増えており、今年度は中学校の全校で実施するところまでできた。生徒がスマートフォンを持つと色々な情報を得て事件等に巻き込まれてしまうこともあり、加害者にも被害者にもなりうる。

中学校での出前授業は特に真剣に聞いてくれる印象があり、デートDV等について知らなかった、友人との関係を築くにも必要な内容であったとの感想をいただいている。

また、この出前授業でシェルターの存在を知った家族から当事者に助言をもらったとの話を伺っており、当事者本人が受講していなくても出前授業の内容が周囲から生かされていると思う。

【意見】

DV防止の意識を浸透させるためにも、地道に活動を続けることが必要だと思う。

【意見】

今、問題になっている児童虐待も暴力であり、苫小牧市民である私たちも「自分には関係ない」では済まされない。地域のまちづくりの中で、みんなが声をかけ合いやすいようにしていきたい。

【意見】

人権擁護委員では高校生から大学生を対象にデートDV防止の活動を行っている。随分前に教育委員会から中学校でデートDV防止の活動をするのはまだ早いと言われていたが、今日の話聞いて大分意識が変わったと思った。

デートDV防止にはジェンダーバイアスの視点を取り入れることも必要だと思う。

【意見】

デートDV防止の内容を学校の授業として取り扱えれば良いのではないか。

【意見】

中学校では苦勞しながらも出前授業を取り入れてくれている。看護専門学校では授業として行っている。勉強した内容を反芻できると良いと思う。

【意見】

短い時間の出前授業であっても、それを聞いて救われる子がいると思う。小学校の教員をしていた経験からすると、授業のやりくりは大変難しいという実情がある。そんな中で、中学校の全校で行っていることはすごく良いことだと思うし、救われる子がいると思う。

【意見】

まずは「気づくこと」が大切であると思う。地道な活動を続けることで、一人でも多くの人への気づきにつながっていくと思う。

報告（2）その他

各委員から委員を務めた2年間の感想をいただいた。多かった感想は、自分とは違う現場にいる皆さんの意見を聞くことができる貴重な場であった、審議会での意見交換等を通して学ぶことがあった、得た情報を伝えて今後の自分たちの活動に生かしていきたいというものだった。

また、育児中の者にとっては無料託児付きであることで審議会に参加しやすく助かった。審議会は自分たちの気づきをまちづくりに反映できる場であることを周りの方にも伝えていきたいとの感想をいただいた。

○苫小牧市女性人材バンクの登録者募集について、事務局から委員に周知の協力を依頼。

○男女平等参画推進センター事業のお知らせについて、事務局から説明。